

～縁の下の力持ち～ 放射線科のご紹介

放射線科は診断に必要な画像情報を提供するために、各種画像検査装置を用いた撮影業務を担当しています。X線一般撮影装置（デジタルカメラ対応）と16列全高速CT検査装置を装備しており、デジタル画像システム処理で電子カルテに迅速に送信し、患者様の病状の観察や異常の早期発見に努めています。

当院の特色として高齢の患者様が多く入院しているため、脳梗塞や肺炎、腸閉塞などの高齢者特有の急激な病状の悪化をまねく疾患や骨折などには、休日でも技師が迅速に対応できるように勤務体制を整えています。

レントゲン検査は硬い検査台の上で長時間辛抱しなければいけないというイメージがありますが、当科では撮影に際して、患者様に与える負担や不安をできるだけ軽減するために、コミュニケーションを大切にし、体位変換を行う際は補助具等を使用して看護師または介護福祉士等の介助のもとで行い、負担軽減に対する取り組みを続けています。

あわせて専門職として技術の向上に取り組み、より良い検査を提供できるよう、日々の努力を重ねています。

外来では一般の受診患者様の他に、協会健保の健康診断や肺がん検診等も行っております。健康診断においてレントゲン検査は病巣を早期発見するうえでかなりのウエイトを占めますので、その機会が有意義なものになるよう日々心がけております。

これからも地域に愛され、地域に根差した親しみのある放射線科を目指し、患者様に優しい検査を心がけて参ります。

放射線科 櫻井 甲



【フラットパネル対応一般撮影装置】

一般撮影では、頭部、胸部、腹部や全身の骨や関節などの撮影を行っています。フラットパネルを搭載した撮影装置により、最適な画像表示や画像の電子保存を置行い、画像情報の有効活用ができるよう整備されています。



【16列全身CT検査装置】

16列のマルチヘリカルスキャンが可能な装置となっており、広範囲を連続して高速に撮影でき、検査時間の短縮化や患者様の負担軽減、高機能検査の実施もできます。



腰椎を撮影処理した画像で、左から一般撮影腰椎側面、CT MPR サジタル、CT 3D となっております。